

大枝学区



データファイル

- 人口 6,283人
 - 世帯数 2,636世帯
 - 面積 5.887km²
- *平成17年国勢調査(10月1日現在)



住みよい地域とするために

明治22年の町村制実施に伴い誕生した大枝村は、沓掛村・塚原村・長野新田村から成り立っていました。当時、山陰街道の沓掛周辺には家並が連なりその大半が茶屋、旅籠屋、旅人の休息所でした。また、山陰・若狭方面から運ばれる品の取引される市場町でもあったので、村は活気に満ち、人々の生活は比較的安定していました。

ところが、明治32年に山陰線の開通を機に一変し通行する人も品物も減少し、活況を呈していた村は転換を余儀なくされ、笹藪や水田の開墾が行われ、瞬間に農村へと変貌しました。しばらく低迷が続きましたが、笹を特産として再び村には繁栄が訪れました。

しかし、大正末期から昭和初期にかけての農村不況は当地においても訪れ生活は極めて苦しくなりました。昭和10年には経済更生指定村としての指定を受け、富有柿・栗・蔬菜畠の造成に力を入れ光明が見えはじめた頃、満州事変、第二次世界大戦の勃発と大混乱が続き、昭和23年を境に財政維持が困難となり、経済的にも立ちいかなくなり昭和25年12月25日京都市に編入され、右京区大枝・沓掛町・塚原町・

中山町・東長町・西長町として再スタートすることになりました。

編入後は、新国道9号線の開通、旧国道の舗装、上下水道の敷設、電話網の普及、ニュータウン・桂坂地区の造成と学区内外の発展に伴い生活も向上し交通も便利になり、戸数も10倍以上、人口も5倍以上に発展しました。

現在、大枝学区の皆さんは居住年数や年齢層も幅があるため、誰もが参加でき、みんなで盛り上げることのできる事業として、夏祭り、区民運動会、歩こう会、もちつき大会等々、新旧・世代間を越えた心の絆を深めるための行事を企画しています。

そして、これらの行事を通して交流を深め、住みよい地域にするため互いに協力し、子ども達を親に代わって面倒を見、悪いことは親に代わって叱れる近所付き合いを昔のようにしてほしいと心から願っております。



歴史のある大枝小学校



自主防災訓練



交流を深める夏まつり



秋晴れの区民運動会



敬老の集い



大枝学区自治連合会結成50周年式典
(平成14年4月)